

学校運営協議会だより

Vol.15 平成30年3月15日 荻窪中学校学校運営協議会発行

『学校の応援団』

荻窪中学校学校運営協議会 会長 田中 奈那子

平成30年の新春を迎え、お慶び申し上げます。

荻窪中学校は、地域運営学校(CS)の指定を受け、9年目を迎えました。その間、多くの方に支えられながら、月一度の定例会を開催し、充実した学校運営と生徒の教育環境の向上など、校長先生を含めた11名の委員で協議を行い運営しています。

施設設備面においても毎年8月に点検を行い、29年度には、トイレの改修も行われ、校庭には照明も設置することが出来ました。そして生徒との懇談会の中で、要望があった暗い通学路の街灯も付けて頂く事が出来ました。

27年度には学校生活外の「17時間プログラム」を提言策定し生活リズムを確立するための親子のコミュニケーションについて、取り組み啓発活動を継続しています。

各委員は評価、広報、サポートの3つの部会に所属し、時間の許す限り学校行事や授業参観に参加しています。まだまだ模索しながらの活動ですが、来年度は教職員との連携、協力態勢をさらに構築していきたいと思えます。

学校の応援団として、学校と保護者、地域の皆様がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、地域ぐるみで子どもたちの豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を進めてまいりたいと思っています。今後ともご理解、ご協力のほどよろしく願いたします。

17時間プログラムの広がり



小学校第一学年から中学校第三学年までの9年間で、子どもたちは心身共に大きく成長します。

全ての児童生徒が、生活のリズムを身に付け、学習効果が最大限になるよう、「学校外時間」の17時間の過ごし方を地域ぐるみで考えましょう。

17時間プログラム2017の取り組み

地域教育連絡協議会

今年度のテーマ「学校 家庭 地域社会をつなぎ 共に支え 共に創る」に沿った懇談会の中で、親子の対話よりスマホを優先してしまう親子の存在についてや、地域で見守りながら子どもを育てることが重要、などの意見がありました。

善福寺児童館

生活リズムを整え、学習効果を高めるために重要な睡眠についてや、スマホを乳幼児に見せることによってその分、親子の会話や体験的な遊びをする時間が減ってしまうこと、などについての講演会が行われました。

CSとPTAとの懇談会

親子のコミュニケーションの現状や、反抗期の子どもとの対話、地域とのコミュニケーションなどについて話し合いました。

CSと生徒との懇談会

生徒の側から見た親子のコミュニケーションや反抗期、電子メディアに対する自分ルール・家庭ルールによりトラブルにならない使い方が出来てきていること、などの話を聞きました。

17時間プログラム
2018

生活リズムを確立するための親子コミュニケーション、電子メディアとの上手なつきあい方や読書によるコミュニケーションを地域に発信し、一緒に考えていきましょう。



学校運営協議会（CS）各部会の活動報告

評価部会

評価部会は、さまざまな観点から学校をみていくことで、地域と共に学校を改善していくための活動をしています。

その一つ目が、学校評価が適切に行われているかを検証するために、評価部会が中心となって学校関係者評価委員会を招集し検証することです。今年度も、CS委員や荻中学校支援委員会、PTAの方々と共に、適切な学校評価が実施されているか、荻窪中学校の教育が子どもたちの確かな学力を築き、子どもたちを育てるものとなっているか意見を出し合いました。これらの意見が今後の荻中の教育活動に生かされるよう見守ってまいります。

そして、二つ目に、学校の教育活動や日々の生徒の様子を各委員がしっかりと把握するように計画することです。

学校評価が適切にされているかどうか検討するためにも、全CS委員が荻中の教育活動を十分に理解していることが大切です。

評価部会では全委員が分担して学校行事や授業を参観するよう、毎月の参観の割り振りを確認しています。毎月開催する学校運営協議会では参観時の様子を報告し合い、改善点などを協議しています。

今後も、荻中の教育活動が素晴らしいものとなるよう、子どもたちが生き生きとした学校生活を送れるよう、地域の皆様とともに知恵を出し合い、見守っていきたくと思っています。

サポート部会

今年度の主な活動

- PTAとの懇談会：29年7月8日
参加者 33名 (PTA-CS委員)
テーマ「家庭・地域と中学生の望ましい関わり方、PTA活動上の課題」
(学校運営協議会だよりVol.13に掲載)
- 生徒との懇談会：29年11月29日
参加者 30名 (生徒-CS委員)
テーマ「親・地域と中学生の望ましい関わり方、学校生活上の課題」
(学校運営協議会だよりVol.14に掲載)
- 研修会：30年2月28日
参加者 22名 (地域司会・地教連関係者・教員-CS委員)

サポート部は学校運営協議会(CS)が学校と地域の信頼を高め、相互に協力し合って地域の子どもたちを育てるための懸け橋として保護者、地域、そして生徒からそのニーズ(こうありたい、こうでありたい)やウオツツ(具体的にこれが欲しい)の把握に努めてまいりました。

そのような趣旨を踏まえ、今年度もPTAや生徒の皆さんとの懇談会を実施しました。成果としてCSに対する理解が浸透し、施設面の改善においては早急に解決できたものもいくつかありました。しかし、年々職務が増大し、生徒と接する機会を生み出すのに苦勞している教職員の皆さんとの懇談会は年度内に実施できませんでしたので、次年度に実施する予定です。

年度末の研修会では地域の方々と交えて、地域に根差した学校づくりとして「学校・保護者・地域で子どもたちをどう育てるか」についての意見交換を行いました。この結果を次年度の活動に反映させたいと考えています。

広報部会

今年度の主な活動

- 学校運営協議会だより
Vol.13 (29年9月) Vol.14 (29年12月) Vol.15 (30年3月)
- 学校運営協議会ホームページの検討
- 毎月の学校運営協議会議事録の作成

年3回の学校運営協議会だよりを作成しています。また、ホームページでの広報活動ができるように検討に入り、来年度の公開に向けて着々と準備を進めています。

平成29年度 協議会の活動



開催月	主な議題	開催月	主な議題
4月	29年度活動方針の検討	10月	管理職の任用について
5月	予算・活動組織の検討	11月	CS懇談会(生徒との懇談会)
6月	土曜授業参観について	12月	学校経営方針の検討
7月	CS懇談会(PTAとの懇談会)・CS予算について	1月	学校経営方針の承認・CSだよりについて
8月	学校安全点検・CSだよりについて	2月	CS研修会(地域との懇談会)・教育課程承認
9月	教員の任用について	3月	次年度活動計画